教育かわら版

こんにちは教育委員会です ふたたび

No.１５７

令和３年７月２１日発行

今金町教育委員会の会

文責：教育長　中山秀悦

暑い！

義務の学校が夏休みに入ります。文字通り「夏」を感じさせる気温。でも、代理の寄稿を読ませていただくと、作物には最高の天気かもしれません。季節の喜びを感じて！

水の事故、暑さでの不注意によるうっかり事故などに十分気をつけて、今金の夏を満喫し、この後も踏ん張りたいものです。



四季の変化を味わって！　コロナを乗り越えて！

３１度を指す室温計を横目に･･･がんばるぞお　一度だけ言わせてください･･･「あづい」



教育委員リレーエッセイ

『このごろの題材２つ３つ』

今金町教育長職務代理者　　田　中　　稔

「その１～外崎町長と教育委員との懇談会」

町長と教育委員との懇談会が７月１日、昼食を取りながら２時間半ほど実施されました。平成２７年からの地教行法の一部改正により首長との総合教育会議が設置され、今金町では１年にほぼ２回同会議が開催されて居ります。正式な会議ですから予定された議題・予定時間があり、総務課・教育委員会の職員が同席し、議事録を取りますので中長期的な自由な意見交換はしにくい面があります。法改正以前から教育に関する重要な事項（町立幼稚園・保育所の廃止と認定こども園の設置、今小の新築と町内小学校の統合、美利河地区遺跡関連施設整備等々）についてはあらかじめ町長より説明があり意見交換をして来て居りました。今回町長提案、関係職員の計らいにより懇談の場が設けられ大変うれしく思って居ります。

様々な分野の事柄が話題となりました。策定されました新しい町の総合計画でも第一に取り上げられている町内各分野での人材育成の重要性、総合教育会議の在り方、美利河地区の文化財の保存と活用（旧石器・海牛・鉱山等産業遺産・自然ほか）、図書振興・スポーツ振興、専門職員の確保、コロナ禍の中で今金を巣立った進学者と保護者へのサポート（授業がない・アルバイトがない・相談窓口がない等）。

多方面に亘り意見交換がなされましたが、早急な対応が求められるもの、中長期的なもの様々ですが、私達委員は微力ながら地域住民との理解拡大や諸活動の推進、学校や各種団体、行政とのパイプ役としての任を担って行きたいと思います。



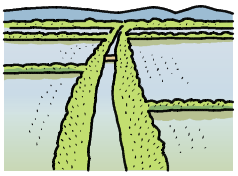
「その２～用水路トンネル探索」

本年　町教委では町内各種文化財の掘り起こし事業を行って居ります。７月１３日午前、字住吉の伊藤正行さん宅の先祖が開削した用水路トンネルを探索しました。宮本学芸員、来町の産業遺産ご専門の山田先生、自治会長の中島さんと伊藤さん（前日より重機で現地に行ける様、見える様準備してくれました）と訪ねました。

昭和初期、２０ヘクタール弱の水田に後志利別川より水を引くために、約２００メートルの岩盤を渇水期に美利河鉱山の技術者・人夫、近隣住民とで２年かけて掘削、昼夜兼行の作業だったとの事です。町内の開墾は明治中期より始まりますが、本州府県からの開拓農民は稲を作付け、白いごはんを食したいと強く望んでいました。大正１２年南利別土功組合の住吉から隣町愛知までのかんがい溝開通が大きな刺激になった事と思われます。測量技術・機器、建設機械等が未発達の乏しい中での工事、先達の開拓魂には頭が下がるのみです。

さてさて、現地探索の結末は？　鉄製門扉が堅牢で錆付き悪戦苦闘！

宮本学芸員の結果取りまとめに　乞うご期待。





「その３～７月８月の稲の成長」

この所の好天に安堵して居りますが、７月の稲は大きく変化生長します。当地の稲の一生は４月上旬の種子浸漬から９月下旬の登熟完了まで１６０日～１８０日程度です。根を伸ばし茎を増やし葉を繁茂させる７月中旬頃までが栄養生長期、７月上旬頃からの幼穂形成以降が生殖生長期です。暑さを感じると子実（子孫）の生産を始めます。おしべ・めしべの機能が形成される７月中旬頃が最も低温に弱い冷害危険期と呼ばれます。１４℃以下の低温に接する時間で収量に影響します。穂は根からの養分補給と日々の気温や日照により穂の数、籾の長さ・幅・厚さが決まって行きつつ８月の出穂を迎え、茎葉での養分生産・養分補給を行ない、充実した登熟をします。低温や異常高温、暴風雨や病害虫に強い稲体と圃場環境を作る事が収量に直結します。

ヒトも、からだ・こころ・知能・知識・身体機能・技能・技術・対人関係・社会性・価値観等々全ての事が、日々の環境・日々の積み重ねで成長するのだろうと思い、自身の子育てを振り返ると反省点まま多し。しかし、子どもたちの少年団の活動、子供会活動、ニュージーランド派遣や国際交流事業等良かった事も沢山経験出来ていました。

今金は子育てに良い町です。家庭も地域も学校も行政も、日々出来る事をひとつひとつしっかりと行なう事が大切だと改めて思うところです。



東京オリンピックが始まりました
どんな雰囲気になっていくでしょうか。
選手レベルの感情は私ごときには分かりませんが、スポーツの良さは分かっているつもりです。
どうか、みんなが安全で高揚感や感動を味わえるオリンピック大会になりますように。　Nakayama